

平成 24 年度やまなし再発見講座&シンポジウム

基調講演 2

未来を語る環境考古学

～災害を掘る～

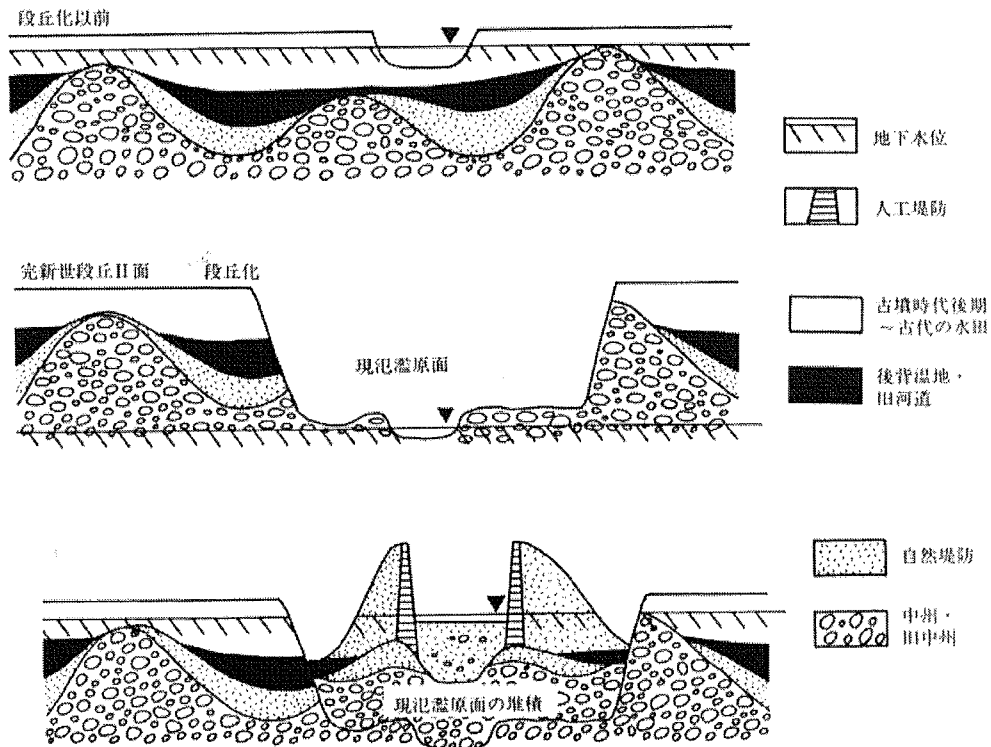
講師 立命館大学教授 高橋 学 氏

基調講演 2 「未来を語る環境考古学—災害を掘る」

講師 立命館大学教授 高橋 学 氏

要旨

- 1) 自分の住んでいる土地の特徴を良く知ろう。河川や海の上に住んでいないか。
- 2) 2種類の地震（内陸直下型、トラフ型）
- 3) 狭い範囲で集中的に被害がある内陸直下型。広域に被害がおよぶトラフ型。
- 4) 地震時に家や電柱の倒壊がある。余震の中、避難は晴れた日のピクニックではない。
- 5) 津波の速度は海で時速 900 km、陸上で時速 36 km。第一波が最大とは限らない。
- 6) 津波の怖さは「移動する水」。建物や崖にぶつかれば遡上する。
- 7) 避難場所は安全か？
- 8) 山梨は近畿より活断層が少ないか？
- 9) 富士山には噴火するツボがある。
- 10) 中世の河原と信玄堤、土地を知りすぎていた信玄。
- 11) 地震を感じないのに津波が来ることがある（1960年チリ津波など）。
- 12) 家を選ぶ重要なポイントは「屋根裏」にある。早速してみよう屋根裏チェック



完新世段丘Ⅱ面の形成とその影響